

4月30日(月)

今日の力

2012年4月30日～5月6日

翻訳 海澤弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

重い水がめを捨てて、全速力で

聖書朗読 ヨハネ 4:28～30

さて、その町のサマリヤ人のうち多くの者が、「あの方は、私がしたこと全部を私に言った」と証言したその女のことばによってイエスを信じた。

ヨハネ 4:39

井戸の女の話は、私の興味をそそりました。特に、彼女が水がめを井戸端に置いて、急いで立ち去ったことです。あなたは彼女が家に急ぐあまり、水がめを忘れてしまったと思いますか？ 水がめがなければ、水を運ぶことはできません。水を得るために苦勞して井戸端まで運んできた貴重な水がめです。その苦勞をもう一度あとで繰り返すつもりで、彼女は水がめを忘れていったのでしょうか？ いいえ、私はそうは思いません。

水を入れた水がめは重く、注意深く頭の上に乗せてバランスをとりながら運ばなければならないことを彼女は経験で知っていました。重い水がめを頭にのせ、ゆっくりと一步一步確かめながら歩いていたのでは、彼女が井戸端で発見したことを町の人々に伝えるために、急いで帰ることができません。イエス様を発見したことに比べれば、彼女にとって水がめなど、つまらない日常の仕事にすぎなかったでしょう。

水がめは日常生活の象徴です。私は時々思います。もし私の水がめが私の上にだんだんと重くのしかかっていくとしたら。日々の生活を維持するための仕事は大切が必要です。しかし、ときには、井戸端のサマリヤの女のように、水がめを井戸端に置いて、世界の救い主について人々に話すために急ぎたいと私は思います。遅すぎないうちに。

讃美歌 217

祈り 親愛なる神様。イエス様をみつけただけでは十分ではありません。人々とイエス様について分かち合ってこそ、すばらしいのです。私の人生があなたによって変えられたと同じように、他人の人生を変えるため、私が水がめを置いてあなたについて話しに行くことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ケイ・バーナム・エバンス
テキサス州 ルーブック

5月1日(火)

神様の自然

聖書朗読 ヨハネ 5:16~23

「というのは、神のパンは、天から下って来て、世にいのちを与えるものだからです。」
ヨハネ 6:33

毎年春になると、ミソサザイが我が家の玄関先のシダのなかに巣をつくります。そしてまもなくすると、ひな鳥が小さな卵からかえります。そっとのぞき込むと、生まれたばかりのひな鳥たちは大きな口をいっばいに開けました。親鳥からえさをもらおうと一生懸命な様子です。残念ながら、私は親鳥ではありませんので、エサを与えることはできませんでしたが。

私たちもまた神様の自然の一部なのです。そうは思いませんか？ 私たちにはぜったいにクリスチャンの家族が必要です。もし私たちがキリストのうちにいる無力な赤ん坊であるなら、なおさらです。神様は私たちが他人に滋養をあたえることを望んでいらっしゃる。他人に神様の愛という食べ物を与えて育てたり、神様の恵みで満たしたりして、ただ単に他人の苦しみを傍観しているのではないことを。

神様は決して「最も適する者を生かす」ということはなさいません。神様の子どもたちが世にあわせて間引かれるということはありません。そうではなく、キリストの身体は、子どもたちを愛によって育てるためにこの世に送られました。愛されない者、落ちこぼれてしまった者、弱い者、不完全な者を積極的に愛するためです。そこには、自分たちは無力だと思ったこともない自惚れ者も含まれています。本当のことをいえば、それは私たちすべてのことをさしているのではないのでしょうか？

これが、神様がご自分の子どもたち、すなわち私たちのためにしてくださっていることです。そして神様は、私たちが神様にしがたって、他の人にも同じように励ましや慰めを与えることを望まれています。

讃美歌 230

祈り 私たちの父なる創造主。あなたが見るように世界を見ることができますように。あなたの光となり、手となり、足となり、自分が愛を必要としているということに気づいていない人々をさえ愛することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

アリソン・マーティン

ルイジアナ州 シュレーブポート

5月2日(水)

このイエス様ってだれ？

聖書朗読 ヨハネ 7:25~36

そこで、ピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、自分たちの律法に従ってさばきなさい。」
ヨハネ 18:31

私たちは「駆け引き」をします。様々な理由からです。物事を遅らせるため、結果を楽しむため、状況をコントロールするため、勝利を味わうため。そして、楽しむために。私たちは特に巧妙に待つことが上手です。私たちにとって最も重要な決定がくだされる瞬間にでさえ。つまり、イエス様をどうするかに関しての決定がくだされるのを待つときにでさえも待っていました。群衆のだれもが、宮で教えておられるイエス様の教えを聴きました。イエス様はキリストとしてふさわしいという者たちがいれば、いや、悪霊につかれているという者たちもいました。パリサイ人たちは、彼らの前に立っている人のうちに神様の御子を見ることができませんでした。イエス様を逮捕するという彼らの決定は、彼らがイエス様を本当に「知る」ということへの優柔不断の結果です。

イエス様は今でも、すばらしい方法をいろいろ使いながら、私たちに話しかけておられます。私たちは神様の言葉からイエス様を知り、愛や親切な行動の中にイエス様を見て、イエス様が何においても私たちを愛されているということを理解しています。そして私たちは、イエス様がその命を与えてくださったおかげで、私たちが永遠に神様と共に生かされるということを信じています。この圧倒されるような証しを前にし、イエス様が本物かどうか知るために、駆け引きによって時間を引き伸ばすことは、意味のないことです。

讃美歌 19

祈り 親愛なる主よ。あなたは私たちがイエス様を求めるのを助けてくださいました。それと同じように、私たちがイエス様をみつけることができるように助けてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ランディ・ロバーツ

ニューメキシコ州 グランツ

5月3日 (木)

どのように罪人を助けるかイエス様から学ぶ

聖書朗読 ヨハネ 8:1~11

「行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」 ヨハネ 8:11

姦淫をした女へ話しかけているイエス様は、私たちに大切なことを教えてくれます。イエス様は彼女がより良い人生を送れるように助けたいと思ったので、丁寧で親切な態度をもって彼女に接しました。そして彼女に「もう罪を犯さないように」と力づけました。一方、ユダヤの指導者たちは、彼女をはずかしめ、彼女を不親切に取り扱いました。それは彼女の更正の助けにはまったくありませんでした。

イエス様はもちろん、ユダヤの指導者と同様に、その女の犯した罪（姦淫）には反対です。イエス様は彼女がしたことを見逃してはいません。しかし、イエス様のマナーは彼女が再び罪を犯さないように助けるものでした。モーセの律法は姦淫の罪を犯した者は石打の刑に処されると定めていますが、彼女を訴えた人々は律法に従って彼女を処罰しませんでした。だからといって、私たちは、イエス様が罪を裁くことに対し弱いと結論すべきではありません。イエス様は「もう罪を犯してはいけない」とおっしゃっています。このイエス様のように、私たちは正しいことと間違っていることの違いが分からなければなりません。その上で、人々を罪から助けるのです。

この話はまた、罪人は皆悔い改めることができるということを教えています。私たちはその女がその後何をしたかは知りません。しかし、イエス様との出会いは彼女がより良い人生をおくることを決定するように導いたことでしょう。

もしあなたが罪を犯しているのなら、イエス様は「もう罪を犯してはいけません」とおっしゃるでしょう。もしあなたが罪を犯している人々を知っているなら、そのことから逃げてはいけません。その人を尊重し、親切な態度をもってイエス様の教えに従うように教えなさい。

聖歌 433

祈り 天国の神様。私たちの罪を取り去るためにイエス様を遣わされたというあなたの計画ゆえにあなたを賛美します。どのように人を赦し、またどのように自分たちが赦されるのかを私たちに示してください。ありがとうございます。

イエス様の御名において。アーメン。

スタッフオード・ノース
オクラホマ州 エドモンド

5月4日 (金)

家に帰る

聖書朗読 ヨハネ 8:21~30

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

ヨハネ 14:6

その女の子はたった四歳でした。しかしどうやって家に帰ればいいのか分かっていました。あるとき、その子は父親に、家に帰る道を自分が示すので、その通りに家まで車を運転してくれるようにと頼みました。父親は娘のいう方向に車を走らせました。女の子は最初の曲がり角をやすやすと示しましたが、二番目の曲がり角では少し自信がなくなり躊躇しました。どの道も同じように見えたからです。そしてまもなく完全に道がわからなくなりました。道を指さす手はうなだれて、涙をこぼし始めました。「パパ、私どっちの道かわからない。私をお家につれてって」と言いました。父親はすばやく車の方角をかえ、二人は家に着きました。

ヨハネ8章で、イエス様はユダヤ人たちにこう言われました。イエス様が行くところに、ユダヤ人たちは来ることができないと。なぜならイエス様が自分はイエスであると言った時、ユダヤ人たちはそれを信じなかったからです。その後、イエス様は弟子たちに自分が道であり、そして自分を通さないかぎり、誰も御国の父のもとへ行くことはできないと話されました。その四歳の小さな女の子のように、私たちは自分の方角について確信しています。私たちは一人で道を見つけられると思いがちです。しかし、真実は、もし私たちがイエス様にしがえれば、イエス様がその道を導いてくださいます。そして、迷えてしまったら、御国のお父様に向かえばいいのです。そうすれば正しい方向が私たちに示されるでしょう。

讃美歌 522

祈り 親愛なる神様。私たちが自分の道は一人でみつけることができると傲慢に考えることをお赦しください。私たちが正しい道を行けるようにしてください。

その道、真理、そしていのちである方の御名において。アーメン。

ジョイス・ハーディン

テキサス州 ドリッピング スプリングス

喜ばしい出来事

喜び叫べ。見よ。あなたの王があなたのところに来られる。この方は正しい方で、
救いを賜り、柔和で、ろばに乗られる。 ゼカリヤ 9:9

今日、キリストの勝利のエルサレム入りは、罪の束縛から私たちを解放してくださったことを象徴しています。私たちの主は、私たちを愛されているのです。

——ルーサー・R・ブリッドガー

イエス様の御名において。アーメン。

ペギー・ティーグ
テキサス州 アビリン

見 方 に よ っ て

わたしが彼らにたとえて話すのは、彼らは見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、また、悟ることもしないからです。 マタイ 13:13

しかし、物理的なものだけが私たちの住まう世界ではありません。そこには精神的な世界もあります。神様の存在に気づくとき、私たちは神様に祈りたえます。しかしおそらく、家を掃除したり政治について話しているときには、そうしないでしょう。そうではなく、私たちはすべてのことを神様の視界の中にいれてそれに焦点をあわせる必要があるのです。

祈り 天国のお父様。あなたが毎日新しい日々をくださることに感謝します。私たちが住む二つの世界を私たちがはっきりと見るように助けてください。そして、物質的、精神的どちらの世界においても生活できるようにしてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ブリー・シルヴィ
カリフォルニア州 ロサンゼルス